



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 赤津 善宣  
幹事 山下 喜一  
SAA 富岡 幸広  
会報小委員長 鈴木 正人

○例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9  
○例会場 ホテルミドリ TEL0246-62-3737

こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために

第 2420 回 例会 平成 23 年 8 月 10 日(水・晴)

2011～2012 年国際ロータリーのテーマ

## 会員卓話

富澤 藤利 会員

### ロータリーソング

ー今月は会員増強及び拡大月間ですー

4つのテスト  
丹野富二男 会員



### ◎会長報告－赤津善宣会長

皆さん、今日は。只今昼食を戴き食後のスイカを食べましたが、このスイカはいわき平東ロータリークラブの吉村義男直前会長さんからの差し入れでございます。皆さん、お味の方はどうでしたか。私は大変美味しく頂戴いたしました。先週8月3日のガバナー公式訪問が無事終了致しました。肩の荷が少し降りた気がします。これも各会員の皆様のご出席とご協力があったお陰とっております。根本ガバナーより過分な講評を頂戴し、また橋本ガバナー補佐のご尽力でいわき漁協小浜支所へ作業服を寄贈することが出来たのも各会員のご協力の賜物と感謝申し上げます。今日は私の年度最初の会員卓話です。富澤会員後程宜しくお願ひ致します。私からは以上です。

### ◎幹事報告－山下喜一幹事

- ・先週のガバナー公式訪問は根本ガバナーの方針により例年と違う公式訪問となりました。会員の皆様には大変慌てられたと思います。連絡不足で申し訳ありませんでした。
- ・東日本大震災原発事故いわき復興対策ビジョンの取り組みということについていわき経済同友会より文書が届いておりますので回覧中です。
- ・いわき平東、いわき平各ロータリークラブの8月プログラム、いわき小名浜ロータリークラブの年次計画書を回覧中です。

・いわき桜ロータリークラブより演奏会が11月20日に順延になりましたので払い戻しされる方はアリオスまでお願いします。

・本日例会終了後理事会がありますので宜しくお願いします。

・来週17日はお盆の為休会となります。

### ◎米山功労者へ感謝状贈呈

後藤泰治会員へ米山功労賞感謝状が届いておりますので赤津会長よりお渡し致します。前の方へどうぞ。おめでとうございます。



### ◎各委員会報告

#### ◇出席委員会－峯口小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。猛暑が続きます出席率が悪いようですので体調に注意しながらご協力下さい。本日は出席奨励賞をお渡し致します。佐藤英二会員、橋本慶紀会員前の方へどうぞ。



### ◇スマイルボックス委員会－佐久間小委員長

・今日の例会でロータリークラブに入会して20年になります。これからも宜しくお願いします。

佐藤英二会員

・先週8月3日のガバナー公式訪問無事終了致しました。会員皆様のご協力ありがとうございました。

赤津善宣会長、山下喜一幹事

・クラブの皆さんに食べて下さいといわき平東RCの直前会長吉村さんから今朝頂戴して参りました。

渡邊公平ガバナーノミニ

・出席奨励賞ありがとうございました。

佐藤(英)、橋本各会員

・誕生祝いありがとうございました。濱沖、白土各会員

・前回例会休んでごめんなさい。

押田、濱沖、佐藤(英)、渡邊(國)各会員

・来週はお盆です。宜しくお願いします。

川中、斉藤、岩元、嵐、富岡、清水、鈴木、金成、佐藤(政)、田子、鈴木(修)、高木、荒川(清)各会員及び高萩会長エレクト

### ◇米山記念奨学会－高木小委員長

先月7月24日(日)に米山記念奨学会の懇親会がありました。いわき平東RCの主幹で夕方5時から平で行われました。地区からは米山記念奨学会学友会から七海さんと推進委員会より遠藤希和子さんが出席されました。カウンセラーは小名浜の志賀さん、桜の鈴木さん、鹿島の中山さん、平東の舟生さん、勿来からは私の5名が参加。奨学生も5名が参加しました。内容は米山の現状と学生の生活について話がありました。また、相馬の奨学生は現在桜クラブでお預りしているそうです。そんなことで参加者全員の懇親を深めて参りました。

### ◎会員卓話－富澤藤利会員

本日の卓話のタイトルはこの夏に出来た本「かかあ天下と空っ風、そして旅ガラス」と題し私が生まれ育った群馬富澤家のルーツについて第1章では曾祖父・祖父が関わった名前のこと、第2章では曾祖

父の父及び父親のこと、第3章では祖父の魂が降り立つ山里と海を渡った旅ガラスについて述べたいと思います。まず始めに入社以来45年間お世話になっ



た(株)クレハを1昨年(2009年)6月に卒業しました。又同時期に学校の教師の仕事も退職し、いろいろな面で長時間ご支援頂きたいわきにソフトランディングする為、地域の活性化活動や私の「先祖がえり」として果樹・野菜・したいけ等を栽培して将来を担う子供達に楽しんで貰おうと、分相応の社会貢献活動の準備を開始しました。それと並行し自分のルーツについて調べてみると私の名前の謂れがわかりました。私が生まれた西上州の富澤家は、代々百姓を生業とする家系で、多くの農家の家業として昔から日本有数の養蚕が盛んな地域でありました。利根川の支流である吾妻川に沿った山間部の西上州は、耕地面積が少なく屋根材が空っ風で飛ばされるのを防ぐ為、屋根に石を乗せた家屋の集落群が散見された寒村であります。また、生活の貧しさ故に次男坊は口減らしの為「旅ガラス」として生家を離れ、地方巡業の田舎芝居の主人公に見られた様な、縞の合羽に三度笠・長ドス1本で生まれ故郷に背を向けて、義理と人情の狭間で世間の裏街道を哀しく生き抜いた渡世人家業の人物も生み出しました。名前の話に戻りますが明治6年12月9日に建立した石碑に生家の隣町の神官藤原利房という名前が出てきます。推察するに名前の「藤利」は、明治20年生まれ祖父が藤原利房から引用して名付けたものであり、残りの房は私と同年齢の従姉妹の名前に房子として用いられました。こうした経緯で名前を名付けられた「旅ガラス」は、クレハ勤務中に多くの海外、国内と居を変えて来た後に縁あっていわき市金山町に「切っ挿し」として定住することとなりました。そして現在、私の金山町にある家の玄関には富澤光五郎豊澄が江戸時代から使用し、富澤家の生活を支えてきた上州方式の黒光した座繰り機と光五郎と墨書きされた糸巻が無造作に置かれ時折訪れる孫達の遊び道具となっております。

### 出席状況

正会員数 55名  
本日の出席率 70.00%

修正出席率 80.00%